

授業改善推進中期プラン 国語 [小学校第6学年]

昭島市立田中小学校

学年等		項目	内容
令和4年度 第4学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	○登場人物の気持ちに共感したり、説明文の例について身の回りのものを当てはめたりすることができる児童が多い。 ▲自分の気持ちや考えを表現することが苦手である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	自分の気持ちや考えを文章や言葉にして伝える力
		具体的な授業改善の方策	話型を提示し、自分の気持ちの表現方法を指導したり、自分の伝えたいことに当てはまる言葉を見付けられるように、国語辞典で言葉を調べさせたり、読書をしたりして、語彙力を増やしたりする。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○根拠をもとに自分の考えを表現する話型を提示すると、考えと根拠の区別がはっきりとし、自分の考えが整理しやすくなり、書く量も増えてきた。 ▲既習漢字を用いて文章を書く力を高めていく必要がある。
令和5年度 第5学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○古典文学の暗唱や国語辞典での意味調べなどに意欲的に取り組む児童が多い。 ▲登場人物の心情や筆者の考えなど、叙述を基にして、自分の考えをもつことが不十分である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	根拠に基づき、自分の考えを表現する力
		具体的な授業改善の方策	根拠となる叙述や考えを明確にさせ、考えを書く時間を多くとる。また、友達の考えを共有する機会を多く設ける。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○叙述を基に、文章を読み取る力が付いた。 ▲理由だけでなく、根拠まで明確にできるようにしていくこと。
令和6年度 第6学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○漢字の学習に意欲的に取り組み、学習した漢字も定着してきている。 ▲文章を読んで、叙述をもとに自分なりの意見をもつことに課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	叙述を根拠に自分の考えをもつ力。
		具体的な授業改善の方策	自分の考えをもつ際に、根拠となる叙述を明確にする。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○すすんで読書をする児童が多く、読み取る力も向上した。 ▲文章を書くことに苦手意識が強い児童が多く、書く力も低い。漢字の定着が困難な児童もおり、文章を書く際に適切に使うことができない。

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第6学年〕

昭島市田中小学校

学年等		項目	内容
令和4年度 第4学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	○四則計算の技能が身に付いている児童が多い。 ▲単位の変換や大きい数や小数点以下の数の扱いが苦手な児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	既習事項を生かして課題を解決したり、図や式で説明したりする力
		具体的な授業改善の方策	答えだけではなく、なぜそうなるか理由まで考えさせたり、復習のプリントに日常的に取り組みせたりする。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○理由まで考えさせることで、計算の意味まで考えられる児童が増えた。 ▲時間が経つと計算方法を忘れてしまう児童が多いため、引き続き計算練習を行う必要がある。
令和5年度 第5学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○四則計算の技能が身に付いている児童が多い。 ▲文章題の立式が正確にできない児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	数直線を描いたり、題意を読み取ったりして立式する力
		具体的な授業改善の方策	文章問題を解く際に数直線に表す機会を意図的に設定する。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○数直線に表すことで、題意を読み取り、立式ができるようになった。 ▲学習内容の習熟をする時間を確保して、基礎的基本的な学習内容の定着を図る必要がある。
令和6年度 第6学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○棒グラフや折れ線グラフのデータを正しく読み取ることができる。 ▲立体の体積を求める公式の意味について理解できていない。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	公式の意味を理解したうえで、問題を解くことができる。
		具体的な授業改善の方策	練習問題に取り組む際に、立てた式の意味を確認しながら進めるようにする。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	○四則計算は身に付いている児童が多い。 ▲自力解決が難しい児童も多く、学習内容が定着しない。